

INTERWRITE

レスポンスシステム
簡易マニュアル

2015年2月



目次

1. 授業前の準備 (PowerPoint のレスポンス用の問題を作成する)	3
2. 授業中 (クリックからの回答 (応答) を収集する)	5
3. 授業後のデータ確認 (学生の回答を確認・分析する)	11
(付録1) 即興モードで、学生から応答を収集する	13

はじめに) 明治大学での Interwrite レスポンスシステム動作環境について

1. レスポンスシステムのサポート

- ・和泉メディア棟 1F「和泉サポートデスク」(03-5300-1190) でサポートします。
- ・実際にご利用になる前に、操作手順をレクチャーいたします。

2. ご利用方法

専用パワーポイントファイル作成や、作成したファイルを授業でご利用する方法には、以下の2通りがあります。

(1) 「クリッカー専用PC」を利用

- ・教員用端末室や、各教室の教卓 PC ではクリッカーが動作しませんので、必要なソフトウェアがすでにインストールされた PC をお貸し出ししております。
- ・学習履歴が保存されるデータベースは、個人の USB メモリで管理してください。
(初期データベースは「和泉メディアサービス」ホームページでダウンロードして頂くか、「和泉サポートデスク」からお渡しできます)
- ・【注意！】貸し出し PC 上に保存されたデータは、ご返却後に消去します。

(2) 個人のパソコンにソフトウェアやデータベースなどをインストール

- ・「和泉メディアサービス」ホームページから、必要なファイルをダウンロードし、インストールしてご利用ください。
- ・Microsoft Office PowerPoint 2003/2007/2010 (32Bit 版) に対応します。
※他社互換ソフトや、Macintosh 版の PowerPoint、64Bit 版 OS では動作できません。
- ・PowerPoint での作成サンプルファイルもホームページで公開しています。

3. 必要なファイルの公開場所

- ・「和泉メディアサービス」ホームページ

<http://www.meiji.ac.jp/wsys/>

※左メニューより「教職員専用」→「AV 機器貸出」→「AV 機器貸出：クリッカー」

1. 授業前の準備 (PowerPoint のレスポンス用の問題を作成する)

(1) PowerPoint のスライドに問題文を入力する

PowerPoint の段落番号機能などを使って、Power Point のスライドに問題と選択肢を入力します。



右のようにスライドの上部には、スペースを開けて問題を作成します。

※授業中に、画面上部にはレスポンスシステムのツールバーが表示されるため。

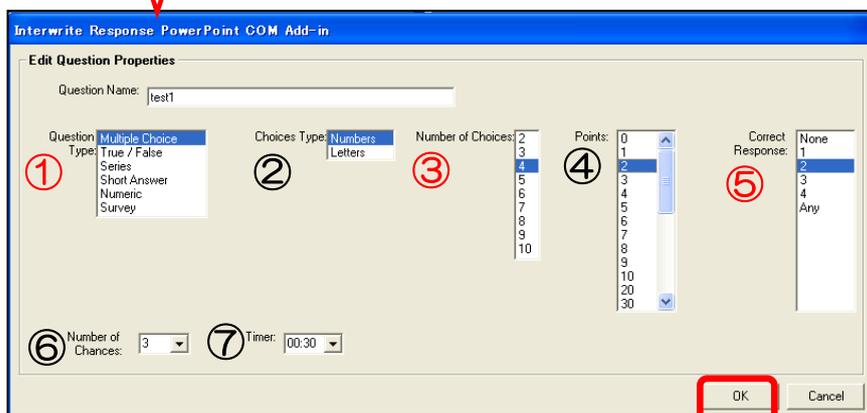


(2) PowerPoint のスライドで、正答等を設定する

PowerPoint メニューのアドインを選択し、InterWrite バーの[New Question]をクリックして、選択肢の数、正解の番号などを設定します。設定が終わったら、「OK」を押します。



下に表示されるダイアログで、
①Question Type (質問形式の選択)、
③Number of Choices (選択肢の数)、
⑤Correct Response (正解)
を必ず設定してください。



【Edit Question Properties の内容】（赤字は必須項目）

① Question Type（質問形式の選択）

※今回導入したクリッカーでは、下記3形式のみ利用可能

- ・ Multiple Choice（多肢選択問題）
- ・ True/False（正誤問題）
- ・ Survey（アンケート/調査）

② Choices Type（選択肢の表記）

- ・ Numbers（番号）
- ・ Letters（アルファベット）

③ Number of Choices（選択肢の数）

④ Points（配点）

⑤ Correct Response（正解）

⑥ Number of Chances（回答できる回数：制限時間中に回答が上書きされる回数）

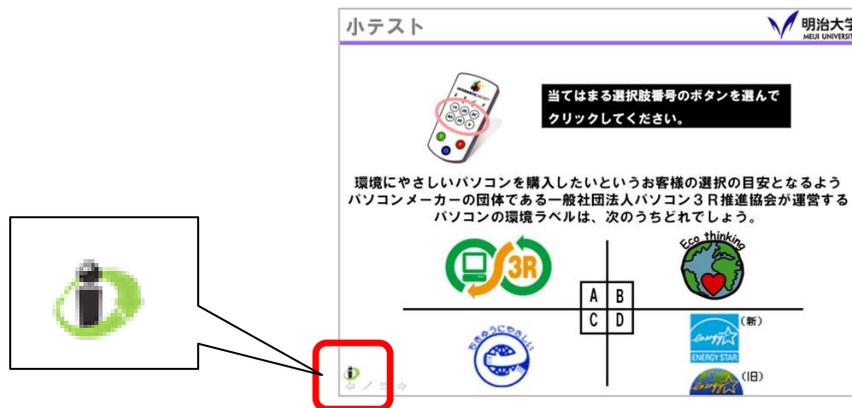
⑦ Timer（制限時間）

(3) USBメモリを準備し、データベースをUSBメモリに保存してください。

レスポンスシステムで使用するデータベースを、USBメモリに保存してください。初期データベースは、和泉メディア支援事務室よりお渡しします。

【補足】

- ・ Interwrite の問題設定をしたスライドの左下には、次のマークが表示されます。



- ・ 問題設定を変更する場合は、Inter Write バーの[Edit Question]をクリックし変更します。



- ・ Interwrite の問題設定をしたスライドをコピーすると、問題設定もコピーされます。

2. 授業中（クリケットからの回答（応答）を収集する）

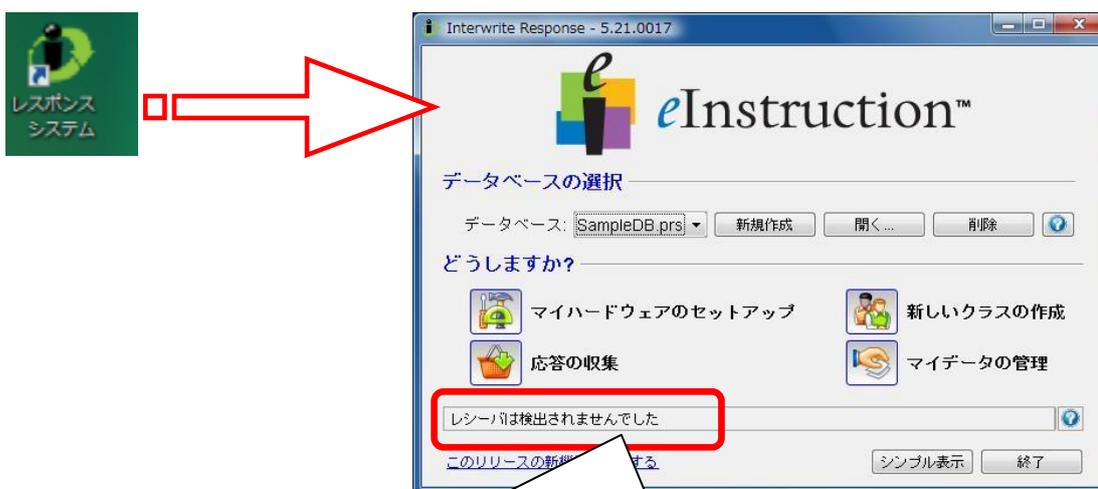
(1) レシーバー（USB）をパソコンに挿す

パソコンへ直接接続しにくい場合は、USB の延長ケーブル（貸出セットに同梱）により、延長して接続します。



(2) デスクトップ上の「レスポンスシステム」からソフトウェアを起動する

メニュー画面が表示され「検出されたレシーバの数」が表示されたことを確認します。



■ レシーバーが検出されなかった場合

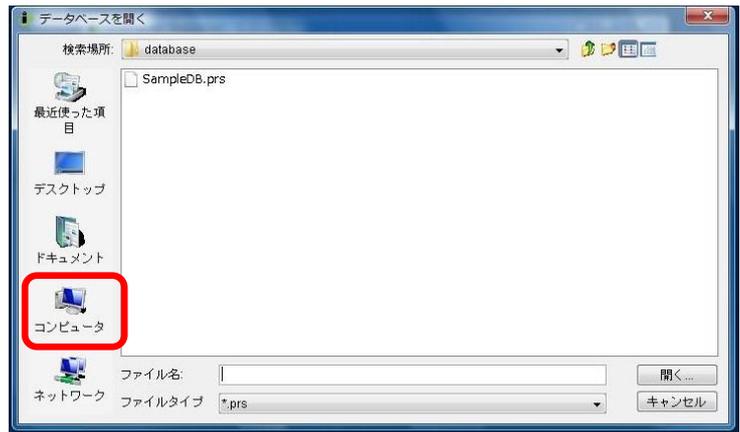
- ・ [マイハードウェアのセットアップ] をクリック
- ・ セットアップ画面で [レシーバ] を選択後、[ポートのスキャン] をクリックする

(3) データベースの切り替え（USB メモリ等にデータベースを保存している場合）

個人持ち USB メモリ内にあるデータベースを開くために、「開く」をクリックします。

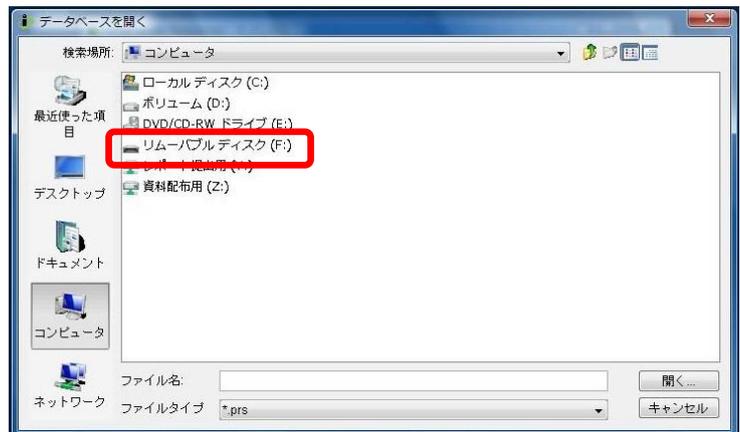


次の画面で「コンピュータ」を選択します。



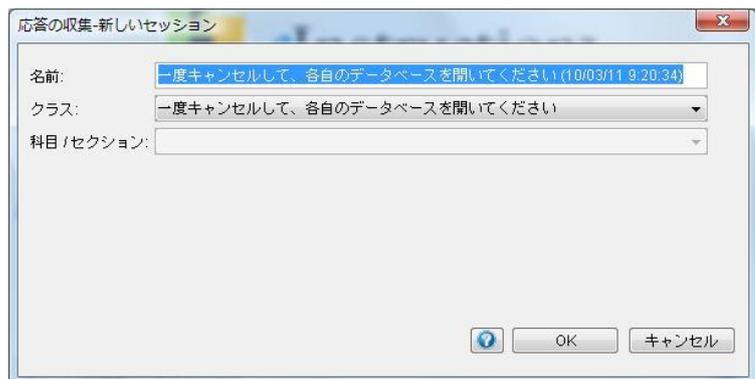
「リムーバブルディスク (F:)」を選択します。

個人持ち USB メモリのデータベースファイル(.prs ファイル)を開きます。



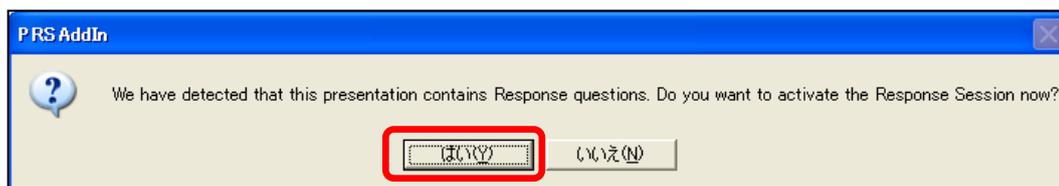
【注意】

・個人持ち USB メモリにあるデータベースが開かれていない場合には、下記のような画面が出ます。「キャンセル」をクリックすると、トップメニュー画面に戻るので、USB 内のデータベースを開いてください。



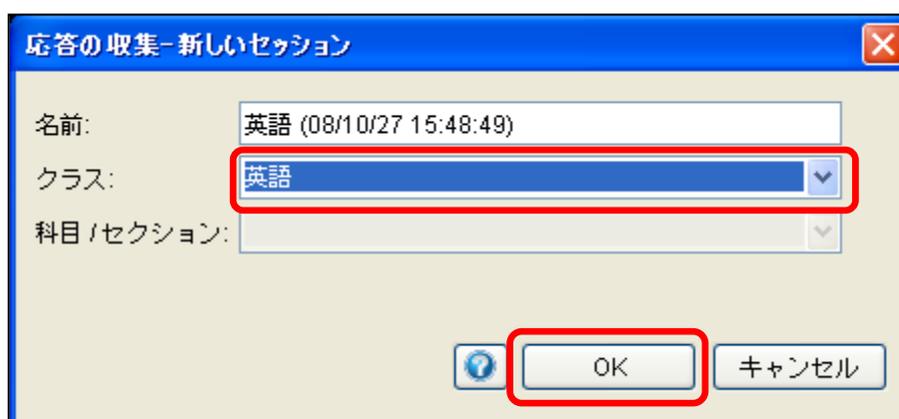
(4) レスポンスの問題を設定した PowerPoint ファイルを開く

[F5]キー等でスライドショーを開始し、次のメッセージ（レスポンスシステムを開始するかどうかのメッセージ）が表示されたら[はい]をクリックします。



(5) クラスを選択する

「クラス」のプルダウンから、クラスを選択し、[OK]ボタンを押します。



ツールバーが起動してしばらくするとセッション番号が〈 〉内に表示されます。



(6) 学生をクラスに参加させる

学生に、セッション番号を入力して参加するよう促します。以下を学生に操作させます。

【学生の操作】（クラスへの参加）

- ① クリケットの電源ボタンを押す。
→ 電源が入ると、 が点滅します。
- ② セッション番号（ツールバーの〈 〉内の数字）を押します。
→  が一瞬点灯し、 が3秒間隔で点滅します。



クラス全員が参加していることを、次の数字（下の場合は10人）で確認します。



(7) 質問を開始する

ツールバーの「質問の開始ボタン」をクリックし、開始します。



学生に回答をしてもらい、ツールバーで「応答した数」を確認します。

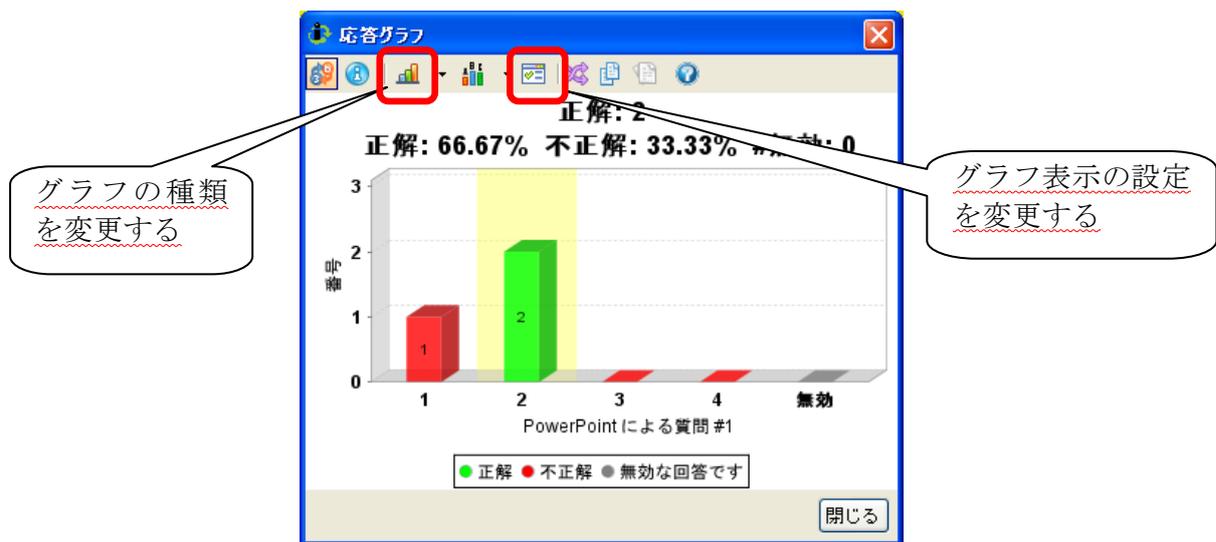
【学生の操作】(回答方法)

数字ボタンを押して回答します。 → ✓が一瞬ひかります。

【注意！】質問開始前に回答すると ✕ が点減します。

質問が開始されたことを確認して、数字ボタンを押します。

タイムアップ、もしくは「質問終了ボタン」で終了すると、下のように回答結果がグラフで表示されます。



(8) 「閉じる」でグラフを閉じ、次のスライドを表示し、質問を開始する

Interwriteの問題が設定されていないスライドでは、Interwriteバーが小さくなります。

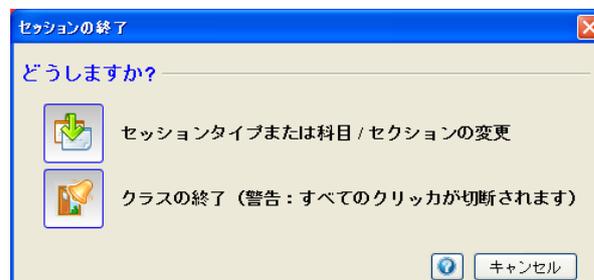
(9) クラスを終了する

授業が終了したら InterWrite バーの右端の×ボタンを押します。



「セッションの終了」画面で、「クラスの終了」を選んで終了します。

レシーバはそのまま抜いてください。



【学生の操作】(終了方法)

電源ボタンを長押しして、電源を切ります。



(10) アプリケーションを終了する

「終了」をクリックして、アプリケーションを終了してください。

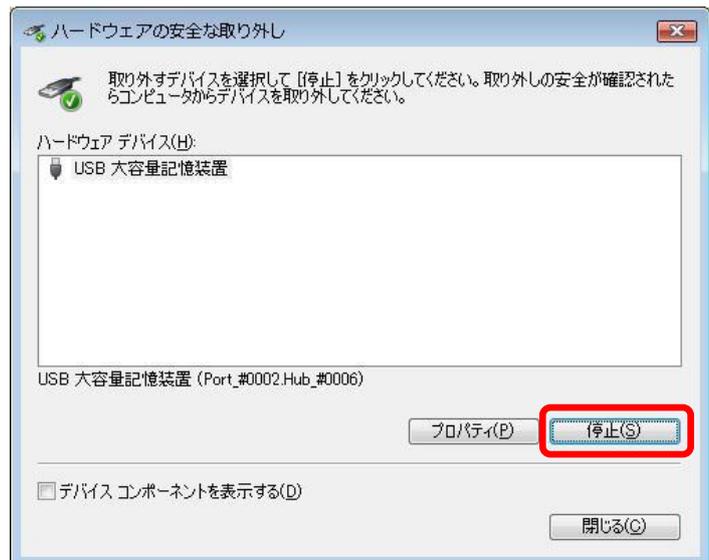


(11) USBメモリを取り外す (USBメモリ等にデータベースを保存している場合)

右に示すタスクバーのアイコンにカーソルを合わせ、右クリックし「ハードウェアの安全な取外し」をクリックしてください。



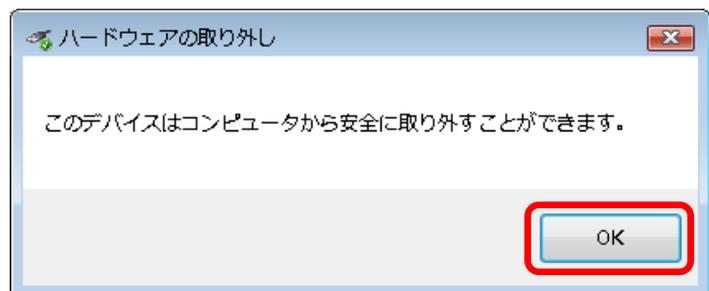
停止をクリックしてください。



USB メモリが選択されていることを確認し、「OK」をクリックしてください。



右のダイアログが表示されるので、「OK」をクリックし、USB メモリを取り外して終了してください。



3. 授業後のデータ確認（学生の回答を確認・分析する）

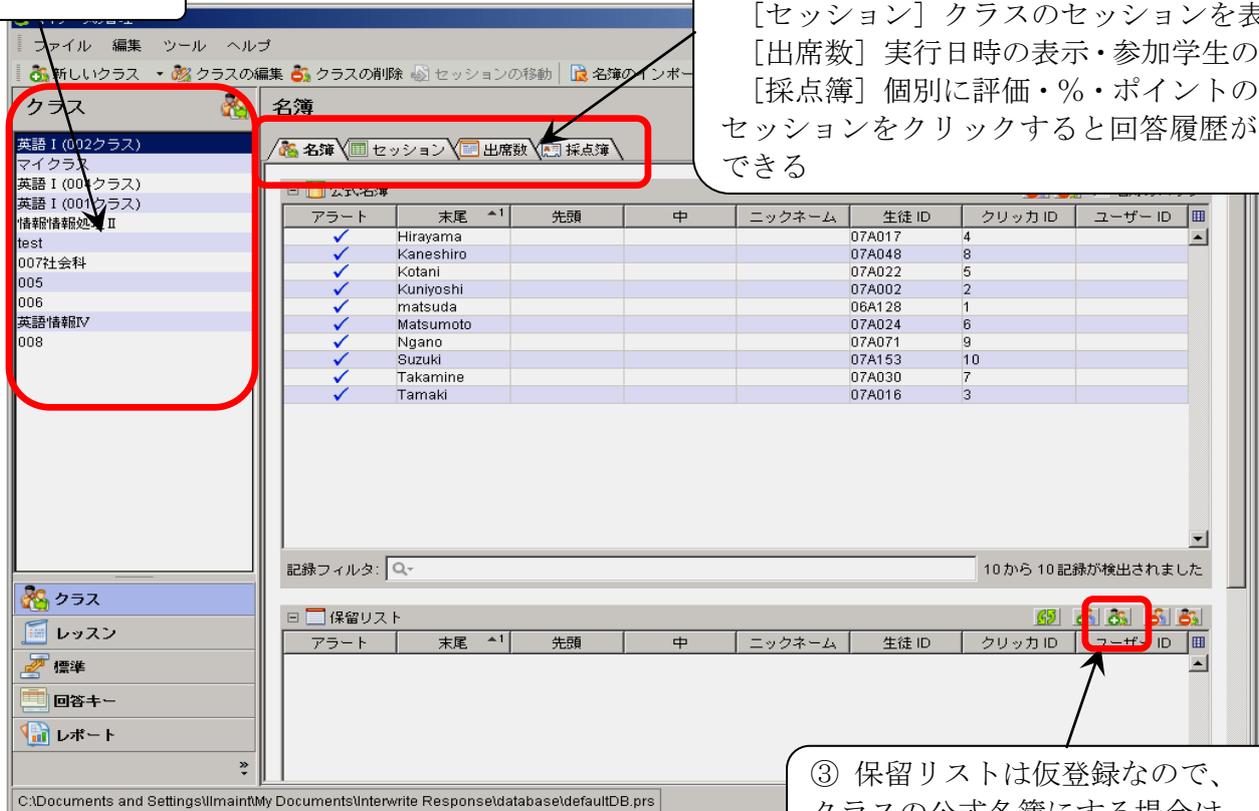
(1) データベースを選択して、「マイデータの管理」をクリックする



(2) 「マイデータの管理」画面では、回答の確認・クラスの作成などを行う。

①クラスの選択

②クラス情報の表示
[名簿] 学生情報を表示
[セッション] クラスのセッションを表示
[出席数] 実行日時を表示・参加学生の表示
[採点簿] 個別に評価・%・ポイントの表示
セッションをクリックすると回答履歴が確認できる



③ 保留リストは仮登録なので、クラスの公式名簿にする場合は、左から3つめのボタンをクリックして「公式名簿」に移動します。

(3) 「セッション」タブで、1つのセッションを選択してダブルクリックすると、次のような履歴画面が表示される

「質問の名前」をクリックすると、その質問の PowerPoint 画面と、グラフ、Row データが確認できる

The screenshot shows a software interface with the following components:

- セッション名:** Session1 (09/01/27 22:25:58)
- 質問 (Questions):** A table with columns '質問の名前' and '点数に含む'. Five items are listed, all with checkmarks.
- 質問 Image (Question Image):** A placeholder for a PowerPoint slide.
- グラフ (Graph):** A bar chart showing results for 10 items. Item 4 is highlighted in green (correct), item 5 in red (incorrect), and item 6 in grey (no answer).
- 応答 (Responses):** A table with columns: アラート, クリッカ ID, 応答, 正しい, 時間, 試行, 名前, クリッカタイプ.

質問 (Questions) Table:

質問の名前	点数に含む
PowerPointによる質問 #1	<input checked="" type="checkbox"/>
PowerPointによる質問 #2	<input checked="" type="checkbox"/>
PowerPointによる質問 #3	<input checked="" type="checkbox"/>
PowerPointによる質問 #4	<input checked="" type="checkbox"/>
PowerPointによる質問 #5	<input checked="" type="checkbox"/>

グラフ (Graph) Data:

項目番号	正解 (緑)	不正解 (赤)	無効な回答 (灰)
1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
4	50	0	0
5	0	35	0
6	0	0	20
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	0	0	0

応答 (Responses) Table:

アラート	クリッカ ID	応答	正しい	時間	試行	名前	クリッカタイプ
	B67B4E	5	✗	00:07.562	1		PRS RF
	B69D2B	6	✗	00:10.015	1		PRS RF
	F4DE64	4	✓	00:05.937	1		PRS RF
	B75819	4	✓	00:11.437	1		PRS RF
	F3BB91	4	✓	00:04.125	1		PRS RF
	EF8656	5	✗	00:08.781	1		PRS RF

(付録 1) 即興モードで、学生から応答を収集する

印刷問題やテキストの問題に対し、即興で回答を収集することができます。

1. 印刷問題やテキスト問題を学生に配布（もしくは提示）します。
2. Interwriteで「応答の収集」を実行して、1問ずつ回答を収集してグラフ化します。

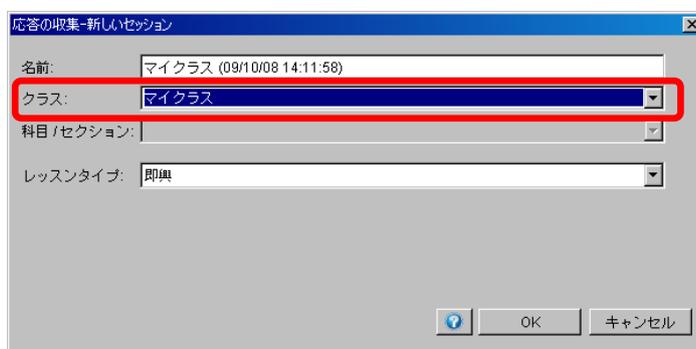
- (1) レシーバー（USB）をパソコンに挿す
- (2) デスクトップ上の「レスポンスシステム」からソフトウェアを起動する
- (3) データベースの切り替え（USBメモリ等にデータベースを保存している場合）
 - (1)～(3)については、本マニュアル p. 4 を参照してください。

(4) 「応答の収集」をクリックする



(5) クラスを選択する

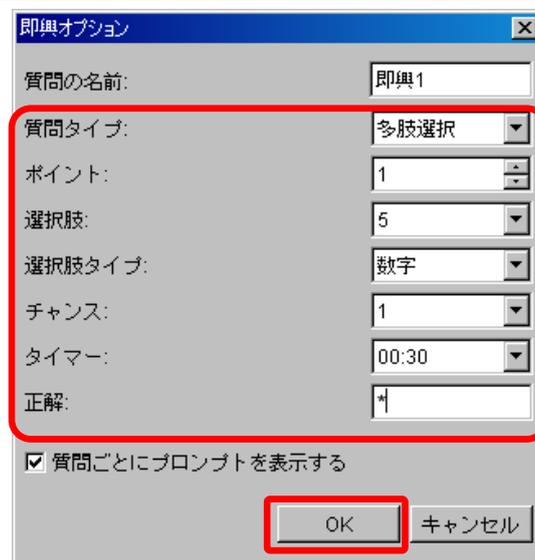
「応答の収集」画面で、クラスを選択し、「OK」を押します。



(6) 即興オプションで問題を設定する

「即興オプション」画面で、選択肢数などを設定、「正解」を入力し、「OK」を押します。

「正解」は、学生に分からないように伏字で表示されます。



ツールバーが起動してしばらくするとセッション番号が〈 〉内に表示されます。



(7) 学生をクラスに参加させる

学生に、セッション番号を入力して参加するよう促します。以下を学生に操作させます。

【学生の操作】（クラスへの参加）

- ① クリケットの電源ボタンを押す。
→ 電源が入ると、 が点滅します。
- ② セッション番号（ツールバーの〈 〉内の数字）を押します。
→ ✓が一瞬点灯し、 が3秒間隔で点滅します。



The image shows an Interwrite Cricket remote control. A callout box points to the power button at the bottom, labeled '電源ボタン'. The remote has several buttons labeled with letters and numbers: 1A, 2B, 3C, 4D, 5E, 6, and a power button.

クラス全員が参加していることを、次の数字（下の場合は10人）で確認します。



(8) 質問を開始する

ツールバーの「質問の開始ボタン」をクリックし、開始します。



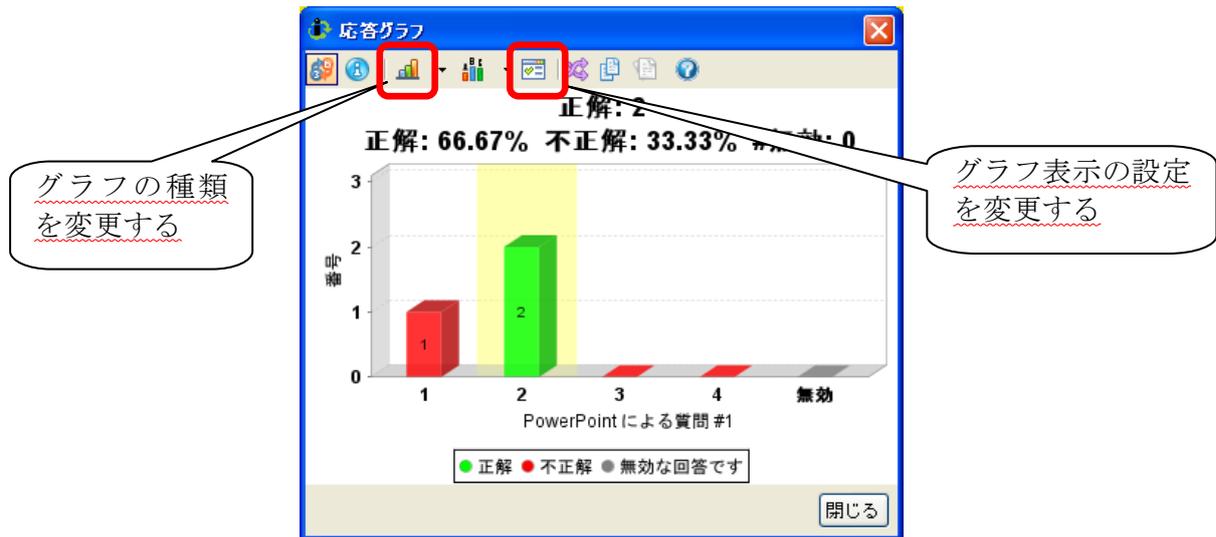
学生に回答をしてもらい、ツールバーで「応答した数」を確認します。

【学生の操作】（回答方法）

数字ボタンを押して回答します。 → ✓が一瞬ひかります。

【注意！】 質問開始前に回答すると  が点滅します。
質問が開始されたことを確認して、数字ボタンを押します。

タイムアップ、もしくは「質問終了ボタン」で終了すると、下のよう回答結果がグラフで表示されます。



「閉じる」でグラフを閉じます。これで1問目が終了です。

(9) 次の質問を設定する

「即興モードへの切り替え」をクリックし、「即興オプション」で次の質問を設定して、「OK」を押します。



(10) 質問を開始する

ツールバーの  ボタンをクリックして、質問を開始します。

これ以降、(7)～(8)を繰り返して、即興で回答を収集します。収集した回答は、「マイデータの管理」で確認することができます

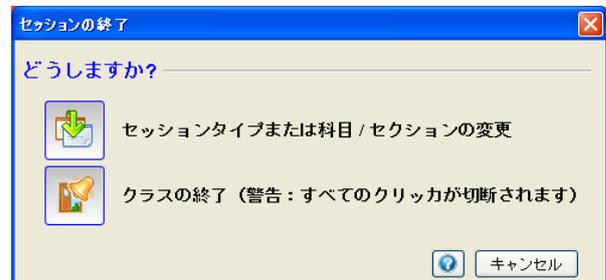
(11) クラスを終了する

授業が終了したら InterWrite バーの右端の×ボタンを押します。



「セッションの終了」画面で、「クラスの終了」を選んで終了します。

レシーバはそのまま抜いてください。



【学生の操作】(終了方法)

電源ボタンを長押しして、電源を切ります。



(12) アプリケーションを終了する

「終了」をクリックして、アプリケーションを終了してください。

